

1 第188回国会概観

1 第47回衆議院議員総選挙

第187回国会開会中の平成26年11月21日、安倍内閣の下、衆議院が解散された。

これを受けて、第47回衆議院議員総選挙は、12月2日に公示され、同14日に行われた(平成24年の公職選挙法改正により、定数は480から475に減少した。)

総選挙の結果、自由民主党は、前回とほぼ同数の291議席を獲得して衆議院の単独過半数を大きく上回り、連立与党であった公明党は、35議席を得て議席を増やした。また、民主党及び日本共産党は、それぞれ73議席及び21議席を得て議席を増やした。維新の党は41議席、次世代の党、生活の党及び社会民主党は、それぞれ2議席を得た。

今回の選挙の全国平均投票率は、小選挙区52.66%、比例代表52.65%であった。これは、前回(平成24年12月)の総選挙と比べ、小選挙区及び比例代表のいずれも6.66ポイント下回り、双方の全国平均投票率は、戦後最低を記録した。

翌15日、自由民主党及び公明党は、連立政権の継続を確認し、合意文書に署名した。

また、民主党では、今回の総選挙の結果、議席を得られなかった海江田代表が、同15日に辞意を表明した。その後、平成27年1月18日に行われた代表選挙において、岡田克也衆議院議員が新代表に選出された。

2 会期及び活動等の概要

(召集・会期)

第188回国会(特別会)は、12月14日に行われた第47回衆議院議員総選挙を受け、同24日に召集された。会期は、衆参両院の本会議において、同26日までの3日間とする旨議決された。

開会式は、同26日午前10時30分から参議院議場で行われた。

(院の構成)

参議院では、召集日当日、8特別委員会(災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、消費者問題、震災復興、原子力問題)が設置された。

衆議院では、召集日当日、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に自由民主党

の町村信孝君が、副議長には民主党・無所属クラブの川端達夫君が当選した。また、同日、議院運営委員長の選挙が行われた。翌25日には、議院運営委員長を除く各常任委員長の選挙が行われたほか、災害対策特別委員会等9特別委員会が設置された。

なお、第187回国会閉会後の12月10日、衆参両院に情報監視審査会が設置されている。

(内閣総理大臣の指名)

召集日当日、両院の本会議において内閣総理大臣の指名が行われ、いずれにおいても、投票の結果、安倍晋三衆議院議員(自由民主党総裁)が指名された。

内閣総理大臣の指名を受け、同日、自由民主党及び公明党の連立による第3次安倍内閣が発足した。

(活動等の概要)

今国会中、衆議院議員提出法律案4件が新規に提出され、いずれも衆議院で継続審査となった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

12月26日、衆参両院の本会議で閉会手続が行われた。

3 その他

(選挙制度協議会)

選挙制度協議会（平成25年9月の参議院各会派代表者懇談会の合意に基づき発足した「選挙制度の改革に関する検討会」の下に設置された各会派の協議会）では、第187回国会閉会後も引き続き、選挙制度の改革について協議が行われた。

そして、第188回国会最終日の12月26日に開かれた協議会において、これまでの本協議会における協議を踏まえ取りまとめられた「選挙制度協議会報告書(案)」が示され、本報告書(案)を本協議会における最終報告書とし、議長に報告することが了承された。